

有毒植物による食中毒情報

ニラと間違えスイセンを
茨城・兵庫・岐阜と相次ぐ

茨城県は常総市の60歳代の男性が有毒植物のスイセンを食べ、嘔吐、下痢などの食中毒症状を起こしたと発表した。男性は自宅の庭で葉の形状が似ているスイセンとニラを栽培しており、間違えてスイセンをラーメンに入れて食べたとのこと。兵庫県尼崎市では30代の夫婦が自宅でスイセンとニラを間違えて調理し、食中毒になりました。

4月17日読売新聞・共同通信

岐阜県関市では会社の従業員5人が長良川の河川敷でスイセンの葉を採取し、会社で炒めて食べたところ吐き気などの症状で緊急搬送された。5月6日朝日新聞

スイセンは葉がニラに、球根はタマネギに似ており、下痢や頭痛を引き起こす有毒物質が含まれています。有毒植物を誤って食べると胃腸炎症状や痙攣などを起こし、時として死亡することもあり注意が必要です。

山菜取りのシーズンですが有毒植物の採取・誤食が増加する季節でもあります

少しでも怪しいと思う山菜は

- 絶対に採らない！食べない！！人にあげない！！
- 調理前に知らない植物が混じっていないか確認する！！

食用植物と有毒植物は同じ場所に生えることがあるので、採る際は1本1本よく確認することが重要です。

P・B商品と製造者記載義務化へ

昨年発生したマルハニチロホールディングスの子会社の農薬混入事件ではプライベートブランド商品に製造者の記載の無いものがあり、回収対象の商品がどうかわかり難いことが問題視されました。これを受けて消費者庁は、プライベートブランドであっても原則として製造者を記載する事を義務づけるなど、制度を改める方針を固めました。

製造する工場が2か所以上ある場合には、従来通りアルファベットや数字で作った記号で記すことを認めています。その場合、消費者からの製造者に関する問い合わせに回答することを義務化するとしています。

消費者庁はこの新制度を今後細かい詰めを行い来年6月までに新たに施行される食品表示法に盛り込む予定とのことです。NHK NEWS WEB

外食も「情報提供を」
アレルギー表示で消費者庁

レストランなどの外食に含まれるアレルギー物質の表示の在り方を議論する消費者庁の検討会が4月21日初会合を開き、現行制度では外食には表示の定めがなく、同庁長官は「アレルギー物質は命に関わる恐れもあり適切な情報提供が望ましい」と述べた。

加工食品に含まれるアレルギー物質は卵など7品目の表示が義務付け、20品目の表示奨励となっているが、外食は定めがない。ホテルや百貨店で相次いだ食材偽装表示では、乳や小麦などを含む加工肉がアレルギー表示のないままステーキとして提供されたことが問題となった。産経ニュースより

大阪でアサリ、赤貝から
まひ性貝毒が検出

大阪府は3日貝塚市や阪南市で採取したアサリから国の規制値の約3倍の、また府海域で採れた赤貝から約1.2倍のまひ性貝毒が検出されたと発表しました。

大阪府内でまひ性貝毒が検出されたのは今年初めて。安全性が確認されるまで府沿岸で採取したアサリや赤貝を食べないように呼びかけている。4月4日産経ニュース

野菜ジュース・おみそ汁etc...
ミドリムシ配合食品シリーズ
イトヨーカドーで全国展開！！

健康食品として注目を集めるミドリムシを使った飲料や食品9品が全国のイトヨーカ堂で展開されることになりました。

イトヨーカ堂は4月15日ミドリムシを使用した食品9品を販売すると発表しました。ミドリムシを配合した商品を複数開発し、全国で一斉展開するのは初の試みとのことです。

ユーグレナが生産・販売する石垣産ミドリムシを利用した商品を食品メーカー8社と共同開発「ミドリムシカラダに委員会」シリーズとして飲料や食品、お菓子などを全国のイトヨーカ堂165店舗で展開することです。

カラダに委員会
ラインアップ

- ① 石垣島の恵み フラック
- ② ヌ チョコチップクッキー
- ③ ヌ 米菓ふわりと
- ④ ヌ ユーグレナほうろ
- ⑤ ユーグレナ入わかめスープ
- ⑥ ユーグレナの梅ガム
- ⑦ 石垣島の恵み ベジタベ
- ⑧ ヌ ユーグレナ入15の野菜ジュース
- ⑨ ユーグレナのおみそ汁



ミドリムシは59種類の栄養素を効率よく摂取できるようにして注目を集めています。ITmediaニュースより

皆様からの情報・ご意見をお待ちしております

県央かわら版では、食品・環境等を中心に情報を発信しております。取り上げていただきたいものや、旬な話題等がありましたら、お気軽にご連絡ください。

一般社団法人県央研究所 県央かわら版事務局

電話 0256(46)8311
FAX 0256(46)8310
Eメール info@kenoh-labo.or.jp



第17号

平成26年5月1日発行

発行所

一般社団法人県央研究所